

『子どもは未来！甲賀に進風を！』

甲賀市議会議員

議会報告書

2023年10月発行

ふくい すすむ 通信 第8号

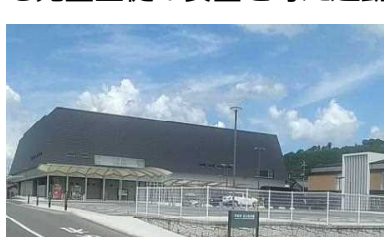
〒520-3322 甲賀市甲南町深川1628 発行責任者 福井 進
TEL 090-1890-9302 FAX 0748-86-7860 Mail ruijifukui@yahoo.co.jp



あなたの^{おも}思いを^{しせい}市政につなぐ！ ～ あなたの声を聴かせてください ～

地球温暖化から「地球沸騰化」時代へ

近年、猛暑のために一定の暑さ指数（WBGT）を超えると小中学校でも児童生徒の安全を考え運動は「禁止」となることがあります。



(空調設備のある水口体育館)

そのような中、夏休み前の7月初め、空調設備のある水口体育館の使用について「夏休み中の平日で空いているときに、中学校の部活動で利用できるようになりませんか。」という相談をいただきました。中学校の先生に確認したところ、「一般利用は3日前までの予約となっているが、直前の申し込みもあるため『減免の部活動利用』は断られている。」との事。

公共施設の運用が、使用料優先になっているのはおかしいと思い、教育委員会で事情を確認して施設の有効利用について検討を依頼しました。

その後、担当で協議がされ7月末に「部活動での試験的利用」の通知が各中学校にされました。お盆明けの水口体育館に行くと、中学生の元気な声が響いていました。

顧問の先生から「去年は、生徒たちからお金を集めて一度だけここで練習をさせてもらったんです。…ありがたいです！」との事。体育館の職員さんも「元気にあいさつをして、掃除もちゃんとしてくれています。」と。

今のところ公立体育館の空調設備は水口体育館だけで、今回の利用も自転車で行かれる近隣中学校(3校)だったそうです。



(元気に部活動をする中学生)

「地球沸騰化」時代…こどもが育つための環境整備には、さらなる検討が必要です。

9月定例会…一般質問 9月7日 より

1、「子育て支援」と共に「子育て支援」を！

小中学校の特別教室にエアコンの設置を！

昨年の9月定例会で「エアコン未設置」について取り上げました。

甲賀市内の小中学校には、90以上（全教室の30%以上）の特別教室にエアコンが未設置となっていたからです。今回の一般質問で再度、質問しました。

今年度の進捗状況と次年度以降の計画は？

(答弁) 今年度は10教室に設置…土山中学校5室(長寿命化工事)、信楽中学校3室、貴生川小学校、希望が丘小学校に各1室に設置します。この結果、274教室に設置できたこととなります。

残りは82教室(小学校60・中学校22)となります。

今後も小中学校施設長寿命化工事と合わせて、計画的に整備を進めます。

今年度のエアコン設置は、一学期には間に合いませんでした。来年は、一学期に間に合わせるために、年度中に補正予算を組む等の工夫が必要です。

地球沸騰化の時代に対応した整備をするように要望をしました。

甲賀市立小中学校のエアコン設置率は、県内最低水準、
全県的には、特別教室もほぼ完備されています。



(扇風機を使っていた時の授業風景)

きょういくかんきょう せいび 教育環境の整備

国・自治体が進める多くの子育て支援は、少子化対策としての医療費・保育料の無償化等、子育てをする保護者（大人）への経済的支援が中心となっています。もちろん、このような支援も必要ですが、未来を担う子どもたちへの応援（未来への投資）は、十分とは言えません。

こどもを中心に据えた「子育て支援」…子ども自身が育つための支援や環境整備が必要です。そこで、教育環境の整備に関して、エアコンの設置以外にも、以下の提案をしました。



1. 教職員の多忙化解消に向けて、

全県立高校・県立中学校で利用されている「デジタル採点システム」の導入。

(答弁) 現状の授業支援システムとの連携した活用で、業務の効率化と個に応じた指導の両立が図れるように検討してまいります。

2. 不登校の児童生徒の学力保障として、

家庭での多様な学びを支援する「ICT-学習支援ソフト」の活用。

(答弁) 学習支援ソフトの活用には一定の成果があり、すでに AI ドリルを利用して学習課題を共有している事例もあります。「学習支援ソフト」の活用や費用補助を含めた ICT 活用を検討しながら、不登校児童生徒に対する学力保障につなげてまいります。

3. 学校で発生する様々な問題の未然防止や早期解決を図るために、

学校や教育委員会に法的なアドバイスを行う「スクールロイヤー(弁護士)」の活用。

(答弁) 本市では「スクールロイヤー」の活用はしておりませんが、必要に応じて総務部の法務係に相談しております。今後、学校での対応が困難なケースが増えていくことから学校の現状を踏まえながら必要な対応に勤めてまいります。

4. しんどい状況にある青少年の支援体制を強化するために、

滋賀県がとり組む青少年立ち直り支援センター「あすくる」事業の活用。

(答弁) 甲賀市少年センター協議会でも、「あすくる」事業の活用について議論いただいております。財源確保も含めた滋賀県の担当課との協議を進めてまいりたいと考えております。

こどもが育つ場所での「大人が不足」

保育施設での保育士不足、小中学校での教員不足は、こどもの育ちにとって深刻な問題です。

また、子育て家庭に「ゆとりのないこと」は、何よりも重大な問題です。

そこで、保育施設・学校・家庭における「人的不足」に関して、以下の質問をしました。

1. 障がい児保育を担当する「加配保育士」に関して、伴谷くじら園の現状は？

(答弁) 「加配保育士」は、特別な支援を必要とする子どもの支援をするもので、甲賀市教育支援委員会において検討の上で決定します。

伴谷くじら園は、途中入園を含め低年齢児の受け入れが多いことから「加配保育士」の配置には苦慮されている状況もあります。そこで、本市職員による定期的な訪問、並びに保育士道や職員の相談対応等のきめ細かい支援を継続しているところです。

2. 甲賀市内の小中学校の教員不足に関して、一昨年度当初は「ゼロ」。昨年度当初は「2名」、2月末は「9名」(3月議会で確認)。今年度の状況は？

(答弁) 今年度当初は「8名」(未配置4/非常勤対応4)、8月末時点で「8名」(未配置2/非常勤対応6)。人材不足に加え、任用期間が短いこともあり、代替え講師を探すことが非常に困難な状況です。

3. 子育て中の教職員や市役所職員への子育て支援に関する教育長、並びに市長の見解は？

(教育長) 子育てのための各種休暇制度をスムーズに利用できるよう業務分担の見直し、チームでのサポート体制を整備しながら「認め愛・支え愛・職場愛」を育ててまいりたいと思います。

(市長) 管理職をはじめとする職員の意識醸成を図ると共に、働きやすい職場環境を整えることが肝要だと認識しております。イクボス宣言を奨励するなど、柔軟に働ける職場づくりに努めます。

4. 子どもから「選ばれるまちづくり」に関する市長の見解は？

(市長) 議員がおっしゃる通り、子育て世代に対する経済的支援はもとより、こどもの育ちを最優先とする取り組みを真ん中に据えた「こどもまんなか社会」の実現が重要だと考えております。

「こどもまんなか社会」

子育て支援としての「病児保育・病後児保育等の整備」等も重要ですが、病気で子どもが不安な時にも保護者が休めない「働き方」の見直しが必要です。子育てや介護で休暇を取る人が、「すいません」ではなく、当たり前「ありがとう」と言える「社会(職場)づくり」が重要です。

引き続き、こどもが育つ家庭と共に、

保育・教育現場の環境整備の充実を訴えてまいります。



(深川こども食堂 - 『ふか輪っ子』より)

2、「^{すてきなこうれいかしやかい}素敵な高齡化社会」に向けての健康づくり

^{けんこうじゅみょう えんしん}健康寿命の延伸について

世界の平均寿命・健康寿命（WHO）において、日本の平均寿命・健康寿命は、ともに第1位。都道府県別の平均寿命で滋賀県は、男性1位・女性2位。しかし、**健康寿命は、男性4位・女性46位。**

厚労省は、平均寿命と健康寿命の差を「不健康寿命」と呼び、この不健康寿命は、平均寿命が延びるほど拡大する傾向にあり、同時に医療費や介護給付費が増大すると言われています。

人生100年時代に『健康寿命を延伸』が重要です。そこで、以下の質問・提案を行いました。

1. 甲賀市の平均寿命・健康寿命の現状は？

（答弁）甲賀市の平均寿命は男性が82.9歳（県82.7歳）、女性が88.3歳（県88.3歳）。健康寿命もほぼ県平均に近い状況にあります。

2. 健康寿命の延ばすための1つとして、病気の早期発見・早期治療が考えられます。

そこで、国民健康保険の「特定健診」に関して、

- ① 健診の対象者
- ② 特定健診の受診率と当面の目標値
- ③ 保健指導の「実施率」
- ④ 特定健診・保健指導の費用

（答弁）①国保加入者のうち40歳以上～74歳までの加入者が対象です。
 ②甲賀市の「受診率」は45.9%で、県より6.6%高くなっています。（県平均39.3%）
 当面の目標値は60%です。引き続き受診率の向上に勤めてまいります。
 ③「実施率」は、受験者の中でリスクの高い人の内、医療機関等で指導を受けた方の割合です。
 甲賀市の「実施率」は25.0%で、県より9.7%低くなっています。
 （県平均34.7%…大津市・草津に次いで3番目に低い）

④甲賀市では両方とも「無料」で行っています。

3. 甲賀市が実施している「がん検診」に関して、

- ① 検診の種類と費用
- ② 検診に含まれない「前立腺がん」の特徴
- ③ 「前立腺がん（PSA測定）」を加えることについて

（答弁）①肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんの5種類です。
 費用は、肺がんは胸部レントゲンを実施、費用は2,800円で自己負担は200円。
 胃がんはバリウム検査を実施、費用は9,800円で自己負担は900円、…等
 ②進行がゆっくりで男性特有のがん。高齢者の罹患率が高い。
 ③現在、厚労省では「前立腺がん」の検診を推奨されていません。国の動向を見ながら検討していきたいと考えています。

4. 「後期高齢者健康診査」に関して、

- ① 健診の対象者について
- ② 健診の受診率について
- ③ 健診の項目と費用について
- ④ 貧血検査を加えることについて

（答弁）①被保険者（75歳以上）のうち、医療機関等に定期的を受診されている方は対象外です。
 ②受診率は、35.9%です。（県平均30.3%）
 ③費用は無料、項目は、身体測定・血圧・血中脂質・肝機能・血糖・尿・肝機能検査です。
 ④項目は、滋賀県後期高齢者医療広域連合が設定されています。現在、貧血検査は項目にありませんが、担当者連絡調整会議等において健診内容の充実について検討してまいります。

5. 健康寿命の延伸に向けて健診内容の充実と受診率・実施率の向上等のとりくみについて

（答弁）健診の受診率と保健指導の実施率の向上に向けた取り組みと共に、現状分析をしっかりと行った上で「健康寿命の延伸」につながる効果的な取り組みに努めてまいります。

6. 人生100年時代の高齡化をマイナス面として捉えるのではなく、「素敵な高齡化社会」に向けての市長の見解は？

（市長）誰もが高齢になっても幸せを感じ、社会とつながりながら一人一人が輝ける「まちづくり」の実現を目指して、オール甲賀で取り組みを進めてまいります。

^{ちいきしやかい}地域社会を支えてくださるのは

甲賀市の地域地域を支えてくださっている区・自治会や自治振興会等の役員さん、民生委員・児童委員・日赤奉仕団・更生保護女性会等、その多くは『高齢者』の方々です。

グランドゴルフや100歳体操等での「体の健康」づくり！…夢の学習や子ども食堂・フードバンク・スクールガード等に関わるボランティアの方々は、活動自体を生きがいに「心の健康」づくり！

人生100年時代に向けて、誰もが輝ける「まちづくり」を進めてまいります。

今回は、「未来につながる子育て支援」と「地域社会を支える高齢者の健康」をテーマにしました。

* 下記のサイトから議会での質問・答弁のようすが、インターネット録画でご覧いただけます。

<https://gikai.city.koka.lg.jp/schedule/index.html>

滋賀県の平均寿命と健康寿命				国民健康保険の特定健診		
(健康しがHPより)				令和3年度 (滋賀県)		
	男性	女性		滋賀県	甲賀市	比較
平均寿命	82.73	88.26	1位 2位	特定健診の受診率	39.3%	45.9% 6.6%
健康寿命	73.46	74.44	4位 46位	保健指導の実施率	34.7%	25.0% -9.7%
健康寿命「日常生活に制限のない期間の平均」(主観指標)				保健指導の実施率「保健指導を行ったうち実施された割合」		
平均寿命と健康寿命の差が大きい → 医療費・介護給付費等が必要な期間が長い						
早期発見・早期治療 (体の健康)				生きがい → 素敵な高齡化社会 (心の健康)		

(滋賀県の HP を参考に作成)

人生100年時代に向けて

今年60歳の還暦を迎え、高校の同級生が集まって『還暦の同窓会』をしました。同窓会での話題の中心も「仕事（経済）」から「健康（生活）」へ・・・！人生80年ならば60歳の還暦は、めでたい『終盤』を迎えることとなりますが、人生100年ならば『終盤』も75歳になります。

各地域で行われる『敬老の日』の祝年も引き上げられ、公務員の定年延長が今年から実施され、定年が10年かけて段階的に『65歳』に引き上げられます。

一般質問の締めくくりで「保健指導を受け本日は休肝日にします。」と言ってしまいましたので実行しました。・・・「素敵な高齢化社会」に向けて準備開始！

	序盤	中盤	終盤
人生 80 年時代	0~19 歳(20 年間)	20~59 歳(40 年間)	60 歳~(20 年間)
人生 100 年時代	0~24 歳(25 年間)	25~74 歳(50 年間)	75 歳~(25 年間)



(還暦の同窓会)

みなさまの声を聴かせてください

「地元活動報告・座談会」の開催…7/26

コロナ禍で開催できていなかった地元での「活動報告・座談会」を開催させて頂きました。参加者は少なかったのですが、おひとりおひとりから地域の課題等について伺うことができました。

- 主な課題
- ・見通しが悪い危険な踏切
 - ・危険な太陽光発電設備
 - ・市営住宅の老朽化
 - ・甲南駅のハトのふん害 等



(危険な踏切・その後除草された踏切)



(ガイドラインにも掲載)



(市営住宅の空き家問題)



(甲南駅のふん害対策工事)



(深川公民館にて)

その後、現場を確認して市役所の各課に現状を伝え、現状の確認と対応をお願いしました。太陽光発電の開発に関しては、「ガイドライン」が制定、過去の設置についても指導が行われています。

「地域リーダーの皆様との意見交換会」を傍聴…8/17・18 9/12・14

行政による地域リーダー（自治振興会・区・自治会の代表者）との意見交換会が開催され、可能な限り傍聴させて頂きました。少子高齢化や過疎化・地域による環境整備の限界・役員の負担軽減と後継者不足等、様々な思いを聴かせて頂きました。

その中で「行政が遠くなっている。…顔が見えない！」の声。自分事として聴かせて頂きました。



(班別でのワークショップ)

「手紙・はがき・固定電話・FAX」…有難いこと！

議員になって丸2年。おかげさまで毎月たくさんのご意見・ご相談をいただきます。その中で手紙・はがき・FAXを送ってくださるのは、高齢の方々です。下記の2つは、今までおつき合いのなかった方から頂いたFAXです。

- ① あちこちの環境整備に尽力されているのを議会報告書より拝読しました。野田橋に水がたまりができ、車が通ると歩道を通る方に大変迷惑。中嶋市長時代にも2回ほど進言したのですが…！（甲南町）
→ 話を聴いてから現場確認（数百人の中高生が通学）→ 市役所へ（担当課）雨天時に現場確認をして対応を検討します。
- ② 区の入りに防犯カメラを設置して、犯罪防止・安全対策を要望します。高齢化が進む過疎地域を都市部のようにお願いします。（土山町）
→ 訪問して現状確認 → 市役所へ（担当課）市による設置は規定上困難ですが、区民の合意があれば申請の上で区が設置することに対して補助する制度があります。



(今夏に頂いた郵便・FAX)



(野田橋の水たまり)

届けていただいた思いと行政（市役所）の対応がつかないことがたくさんあります。時には、行政の対応を職員に代わって説明しているような時も・・・。

今後もみなさんから託された思いを重ね合わせ

「誰もが住みよいまちづくり」に精一杯取り組んで参ります。
…変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

ご意見・ご要望の問い合わせ先は、表紙等に記載しております。
また、日常の活動等については、Facebookをご覧ください。



ホームページ



Facebook

これからも、あなたの声を聴かせててください！